

# モーツァルト室内管弦楽団 第160回定期演奏会

〈生誕300年記念 カール・フィリップ・エマニュエル・バッハとシュトルム・ウント・ドラंक(疾風怒濤)様式〉  
— 門 良一によるレクチャーコンサート —



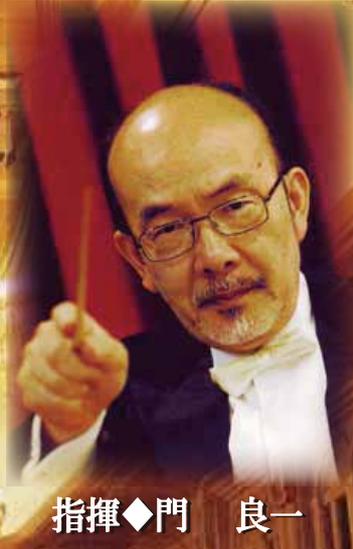
◆カール・フィリップ・エマニュエル・バッハ  
交響曲 ホ短調 Wq.177

◆ハイドン  
交響曲 第44番 ホ短調 《哀悼》

◆カール・フィリップ・エマニュエル・バッハ  
フルート協奏曲 ニ短調 Wq.22

◆ヨハン・クリスティアン・バッハ  
交響曲 ト短調 Op.6-6

◆モーツァルト  
交響曲 第25番 ト短調 K.183



Ryoichi Kado & Hiroshi Oe  
mit dem Mozart-Kammerorchester



2014.

9/7 (日)

2:00pm開演(1:30pm開場)

モーツァルト室内管弦楽団

いずみホール

JR環状線「大阪城公園」駅から徒歩3分、「京橋」駅から徒歩7分、  
地下鉄長堀鶴見緑地線「大阪ビジネスパーク」駅から徒歩5分。  
有料駐車場完備

入場料：一般 ¥5,000(指定席) / 学生 ¥1,000(当日限定数発売)  
\*小学生よりご入場いただけます。

主催◆モーツァルト室内管弦楽団 <http://www.moz-kam.org> 協賛◆いずみホール(一般財団法人住友生命福祉文化財団)

マネジメント◆大阪アーティスト協会 TEL06-6135-0503/FAX06-6135-0504 〒530-0041大阪市北区天神橋2-5-25-909 e-mail:artists@gol.com

前売

大阪アーティスト協会 050-5510-9645(電話受付:平日10~18時) いずみホール 06-6944-1188 チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:236-739)  
ローソンチケット 0570-084-005(Lコード:54761)



\*本公演は世界の子どもたちの未来を支える大阪ユニセフ協会に賛同し、当日会場では募金活動なども行います。

## 今年生誕300年を迎えるカール・フィリップ・エマニュエル・バッハの音楽と その流れを汲む「シュトルム・ウント・ドランク(疾風怒濤)様式について

世の音楽ファンの中では、カール・フィリップ・エマニュエル・バッハの名前と、彼がヨハン・セバスティアン・バッハ(大バッハ)の次男であることは知っているけど、その作品はあまり聴いたことがないなあ、という人がほとんどであろう。しかし彼は18世紀最高の鍵盤楽器の演奏家・理論家であり、当時「大バッハ」といえば父のヨハン・セバスティアンではなく彼のことを指したのである。遺伝学の教科書にも載るほど多数の音楽家を輩出したバッハ一族の中でも、父とともに傑出した存在であった。音楽を愛好したプロシヤのフリードリヒ大王の楽長としてベルリン宮廷に仕えたが、のちテレマンの後継者としてハンブルクに移りそこで生涯を終えた。彼の作風は独特の武骨で男性的なもので、ハイドンに大きな影響を与えてシュトルム・ウント・ドランク(疾風怒濤)様式と呼ばれる一連の短調交響曲を書かせ、それはさらにベートーヴェンやロマン派にも受け継がれている。この演奏会はカール・フィリップ・エマニュエル・バッハの代表作と、その影響下に書かれたハイドン、モーツァルトと弟であるヨハン・クリスティアン・バッハの作品を解説付きでお聴かせするものである。

### モーツァルト室内管弦楽団／指揮：門 良一 *Mozart-Kammerorchester Japan / Ryoichi Kado, Dirigent*

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、40年数年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的プロ室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで、90年からは大阪いずみホールを本拠として年6回の定期演奏会を開催。また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に17回を数えている。海外では88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス(85、87年)、シブリアン・カツリス(93、94年)、ペーター・ダム(83、86、88、98、00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル(86年)、ライナー・キュッヒル(90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲等で活発に協演する他、93年には堺シテリオペラの協力による〈モーツァルト・オペラシリーズ〉を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナル・ノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。07～09年全10回にわたる〈没後200年記念ハイドン・シリーズ〉を、09～11年全18回にわたる〈創立40周年シリーズ〉を、また10年からは〈ベートーヴェン・シリーズ〉を開催している。

### 大江浩志●フルート *Hiroshi Oe, Flute*

明石市出身。京都市立芸術大学を卒業後渡独。国立マンハイム音楽大学芸術家養成課程を最優秀の成績で卒業。帰国後は、ソロ、室内楽、オーケストラなどを中心に活動している。また、邦人作品や新作発表にも積極的に取り組んでいる。89、97、07年大阪にてソロリサイタル開催。97年西オーストラリア・パースの招聘により『ひょうご文化ウィーク』にて独奏。08年NHK-FM『名曲リサイタル』に出演。平成8年度《坂井時忠音楽賞》受賞。現在、大阪音楽大学、相愛大学、ムラマツフルートレッスンセンター各講師。モーツァルト室内管弦楽団首席奏者。《アンサンブル・ダンツィ大阪》及び《アンサンブル135》メンバー。伊丹シティフィルトレーナー、明石フィル演奏委員。日本フルート協会理事。